

第13回 日本免震構造協会賞 -2012-

第13回日本免震構造協会賞は、右の5件に決定した。

表彰制度の目的

免震構造の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した者並びに建築物を表彰することにより、免震技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造の適正な普及発展に功績が顕著な者に、技術賞は、免震建築物の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術としての優れた成果に、作品賞は、免震構造の特質を反映した、優れた建築物に贈る。今回は、上記4賞に加えて特別賞を設定し、応募案件の中から、特に顕著な功績があると認められる個人、法人及び団体に贈る。

表 彰

2012年6月5日

一般社団法人日本免震構造協会通常総会後

一般社団法人日本免震構造協会表彰委員会委員

中埜良昭（委員長） 江本正和 木林長仁
小泉雅生 小堀 徹 深澤義和 古橋 剛
増田 剛

審査経過

第13回（2012年）の応募は、技術賞3件（免震構造による新築2件および免震改修1件）、作品賞8件（免震構造6件、制震構造1件、各構造をそれぞれに採用した2棟構成1件で、いずれも新築）、普及賞1件（免震構造）で、功労賞への応募はなかった。

本年度は、まず第一回委員会において、各応募作品等の確認と審査対象の選定、審査方法・日程等を審議・確認し、同手順に従い平成23年10月から12月にかけて技術賞応募対象および作品賞応募建物のヒアリングおよび現地視察の実施を決定した。次に第二回委員会において、視察結果等に基づき、技術賞および作品賞の受賞候補を選出した。また普及賞についてはその内容から特別賞が適当であると合意された。各受賞の経緯概略は以下のとおりである。

特別賞には、2011年東日本大震災において周囲の建物が壊滅する中で多くの人命救助に貢献した免震病院建築が選定された。本件は当初普及賞への応募であったが、免震建築の普及にとどまらず、最大級の地震災害においても地域防災拠点としての機能を確実に果たしたことが

選考結果

第13回日本免震構造協会賞受賞は下記の5件である。

I 特別賞

石巻赤十字病院	金田 巖	
石巻赤十字病院	木原碩美	染谷朝幸
株式会社日建設計	室井 博	鈴木祐二
鹿島建設株式会社		

II 技術賞

<特別賞>阿佐ヶ谷「知粋館」

株式会社構造計画研究所	高橋 治	富澤徹弥
清水建設株式会社	須原淳二	黒澤 到
カヤバシステムマシナリー株式会社	露木保男	

III 作品賞

1) ソニー株式会社 ソニーシティ大崎

ソニー株式会社	齋藤賢吾	
株式会社日建設計	山梨知彦	向野聡彦
鹿島建設株式会社	桐生雅文	
カヤバシステムマシナリー株式会社	露木保男	

2) オリックス本町ビル

株式会社竹中工務店	片山丈士	島野幸弘
	澤井祥晃	西尾和哉
	有田 博	

3) <特別賞>サウスゲートビルディング

西日本旅客鉄道株式会社	尼崎 隆	
ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社	越野栄悦	
株式会社安井建築設計事務所	保田秀樹	松本孝弘
	秋田 智	(敬称略)

ら、委員一同で称賛の意を込めて新たに特別賞を設けることを提案し、理事会の承認を経て受賞が決定された。

技術賞は提案された免震技術に対する新規性、信頼性、発展性、事業展開性などから審議され、鉛直免震を付加した3次元免震建物が選定された。ただし本技術の今後の普及・展開性については課題なしとはしないことから、今後の発展に期待し、技術賞（特別賞）とした。

作品賞は免震・制震技術に対する構造的・技術的工夫に加え、その建築空間、内外環境、景観、都市環境に与える影響も加味して3件（うち1件は特別賞）が選定された。1件目は単に免震建物にとどまらず建物周辺も含む環境制御も意識したチャレンジングな作品である。2件目はRC造高層免震オフィス建築で、基礎免震と中間層免震の併用や無柱空間による質の高い空間を実現している。3件目は隣接する2棟をその中間階に集約した連結制震システムにより既存超高層建築の耐震性向上を目指した事例で、その技術的工夫を評価して特別賞に選定した。

(中埜良昭)